

乙第四千

開拓申新官一節
利在偏海用為法圖
移之遠近
此公當知出處
及原
出有之由申之也

順治二年五月九日
開拓長官里田清隆

大政大臣三條實美及

開
抄
信

西村中末愛法園は用とてうわい
青程致み候所院へは書物なり然り
片々度は致ししにせり

八
年
五
月
八
日

山田守殿

敬
啓
係
中

限り石室の事なりと云ふ所月一日

月
石
使

身者以條以爲主可爲在在可
つていふ

開拓傳

乙未四月

當食出法所昇降一時退像
四月十日ヨリ午前五時急集各條
第二時退散一帯一帯生れ初
申す改也

明治八年五月九日開拓長官奥田清隆

大政大臣三條實美殿